1月　3日　　　愛宕山　　　　　　　　　　伊藤　典子

山　名	愛宕山	山行名	例会（新春登山）
ルート	清滝～月輪寺～社務所～水尾の分れ～躑躅尾根～JR 保津峡駅		
山行日	2020 年 1 月 3 日(金)	天　候	晴れ時々曇り
参加者	リーダー：　伊藤典子　　　　　サブリーダー：　土岐吉正 男性：　藤村、山下隆、平尾、中田、森本 女性：　倉光、玉置、中井、原田、吉田、永江　合計：　１３　名		

ルート概略図

省略

コースタイム

地名		時：分	地名		時：分
清滝 金鈴橋	集		つつじ尾根 ベンチ	着	15:00
	発	9:20		発	15:05
月輪寺 登山口	着	9:55	登山口下山	着	16:00
	発	10:00		発	
月輪寺	着	11:10	JR 保津峡駅	着	
	発			発	16:27
社務所	着	12:20		着	
	発			発	
階段下 小屋で昼食	着	12:25		着	
	発	13:20		発	

山行報告及び感想

京都駅嵯峨野線 7:58 発の電車に乗り嵯峨嵐山駅で下車、嵯峨小学校前バス停まで歩く。バスの時刻は 8:47 発なので余裕たっぷり。待ち時間を利用して、新入会員 5 名の参加があったので簡単な自己紹介をし合った。例年表参道を登っているが、月輪寺コースを登ったことがないので変更しないかという意見が出され、多数決を取って、今回は月輪寺コースを登ることにした。個人的には愛宕神社の初詣を兼ねているので、正式に参道を登ってお参りをしたかったけれど、月輪寺コースは表参道とは違ってすれ違う人も階段も少なく、いつもの初詣のために登っているというよりは初登山を楽しんでいる実感があり、新鮮な気分であった。終始ゆっくりペースで十分な休憩を取ったので、距離が長く時間は掛ったけれどさほど疲れなかった。お天気にも恵まれ小春日和のような暖かさで気持ち良く歩けた。昨年に続きお汁粉の餡の提供があったので、バーナーや鍋等を持ち寄って、階段下の小屋で餅入り汁粉を頂き、お正月気分を味わった。人が多くて皆で囲んで一緒に食べられなかったのが少し残念だった。下山は予定通りつつじ尾根コースにした。膝痛を抱え乍らも完歩された最年長様の頑張りに脱帽！！誰一人欠けることなく最後まで全員で下山できてホントに良かった。下山口でハイタッチした時のみんなの笑顔も最高であった。

事前のメールで集合時間を間違えるわ、当日山行届を持参するのを忘れるわ、最後に「解散」の締めも京都駅の人混みにもまれて有耶無耶になるわで、まだまだ未熟者の CL 担当で情けなかったが、頼もしい SL 担当と 1 班 2 班の班長の的確な誘導に支えられ、新年の初登山が無事に終えられたことに感謝である。

ご参加の皆様、ありがとうございました。これからも色々な山に登って楽しみましょう！

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

＜感想文＞

新春の愛宕山　**中田繁男**
毎年恒例の正月愛宕山登山は入会して初めて参加しました。今年は孫の御守が出来たので出掛けることができました。登山教室の修了生５名が参加です。登山コースは私が一度も下山しかしていない月輪寺コースを登りたいと CL の皆さんにお願いしてもらい、当初の正面参道から変更して開始です。ゆったりした登りが続き暑い！冬とは思えない気候のなか下山する方々と出会い和気あいあいとした山登りを楽しみました。正面の参道コースより 30 分長いコースタイムですが、おしゃべりが止まりません。ストレス発散ですか？
流石に神社に着くと大勢の参詣の人々がやってきている。寒い！温度が急に下がりました。石段を息切らしながら登り切った所のお馴染みの社務所に着いた。急いでお決まりの御札を購入した。今年から３種類に増えてます。(商売熱心）石段下では平尾さんと藤村さんが恒例の小豆入り「ぜんざい」の用意が出来てありがたいです。アツアツを頂き乍ら息が白い！家族づれ👪の参詣者も沢山登ってきます。上田夫妻も見えます。相変わらず人気の山ですね・・・・
帰りは膝の痛みがでた山下さんを先頭にツツジ尾根コースから保津峡駅に着いたころには、少し薄暗く冬景色。お疲れ様⁉　若い新入会員の方々は元気で頼もしい。新春第１回目の例会が無事に修了しました。

愛宕山＊登山祈願　**玉置安世**
いつもお正月はテレビを観てだらだら過ごしていたのですが、今年は初詣を兼ねて山登りなんて自分でも信じられない。
みんなに愛宕山はしんどいよ～と言われて、ちょっと予行演習と年末に新人３人で登りました。
その時は表参道からいきなり急登で最後も急な階段で３時間もかかりました。

みなさん 2 時間半くらいで登られるようなので大丈夫かなあと思っています。
今回は月輪寺コースで階段ではなかったので歩きやすかったです。
あとこのコースは人も少なくて良かったです。
神社への参道と合流したらたくさんの人・人・人
お守りなどを購入されていました。
私も年末に買った登山お守りに加えて鈴を購入。登山祈願もばっちりです。
ぜんざいも頂いて美味しかったです。ありがとうございます。
帰りのつつじ尾根からは長い下りでしたが、ひたすら階段を下りることもなく、下りたら電車と言うのがいいですね
暖冬の影響で参道には雪も全くなく、雪景色が見れませんでした。
アイゼンの練習もしたのに雪の上をちょっと歩いてみたかったな。
雪が降ったらまた来てみたいです。
年始から楽しい山行でした。ありがとうございます。

永江淳子

愛宕山は登りも下りもかなり長くてこれ以上は、、、と今の自分には限界手前でした。

でも後方の先輩方の楽しいおしやべりを聞きながら苦しいながらも笑顔の山行となり、一緒に休憩しながら下りてきたお揃いの緑帽子の年配グループにも励まされました。

また次のステージへ行けるように限界手前の壁を越えれることを２０２０年の目標に出来たらと思います。

かじかんだ手でふうふうといただいた交流部の方々の熱いおしるこが本当に美味しくて体に滲みわたりました。

重い材料を運んで作ってくださり、ありがとうございました。

新春　愛宕参り　**山下　隆**

特別なことがないかぎり、ずっと以前から新春愛宕登山に参加してきた。すでに退会してしまった浜北さんが長い間 CL を担当してくれていた。最近はありがたくも伊藤典子さんがその伝統を引き継いでいただいている。今後も継続してもらいたいものです。パソコン日記をつけ始めた 11 年前の記録を見ると「愛宕登山参加。雪景色◎」となっていた。

年の初めに、今年一年の山歩きの安全祈願を愛宕山に登って祈願することは私にとっては新年事始めのルーチーンになっています。おおよそ八合目あたりから雪道となり、アイゼンを苦労して付けて登り始める。わが家からは愛宕山は良く見えるので、前日に望遠鏡で愛宕の雪加減を見て　ヨーシ雪だ！と心弾ませて出かけたものでした。雪にしっとりと包まれた山頂近くは　黒門に始まり、霧氷や杉の大木、石段、灯篭のある参道、石段、本殿と神聖な雰囲気は　いつも心洗われる気持ちになれる場所でした。京都には多くの寺院があるが、汗水流しながら登ったせいもあろうが、愛宕山にかなう所はないだろう。ところが、今回は全く雪が無く、前夜に少々の雪を期待したがほとんど無い。本殿の横にげんこつ並の塊があるだけだった。過去の雪景色を想像するしかなかった。正月に幸せ太りした体と心を引き締めるにもいい機会だった。今後、愛宕山に雪が降った翌日には是非行ってみたいと思っています。

昨年の新年愛宕参りの帰路、雪と土と石ころの混ざった状況の良くない所でアイゼンの足運びがへたで足首をひねり、表参道をユルリ・ユルリとなんとか降りることが出来た。今年も又災難に見舞われることになり、皆さんにすっかり迷惑をかけることになってしまい申し訳ございませんでした。登り 95%位登った最後の石段を登るあたりから右膝周辺が痛み出し、お参りしてからの石段を降りるつらさ！　得意のツリとは質が違う。昼食休憩すれば収まることを期待したが、平地歩行では問題ないも、階段の下りは一段ずつの蟹の横這い歩行で皆さんに大幅に遅れてしまった。合流後は若手のＴさんが小生のリュックを快く引き受けてくれて助けてくれた。自分が歩けるゆっくりペースで先頭を歩かせてもらう。なだらかな所ではＩさんとバカ話をすると痛みは忘れる！痛みは脳がそうさせるのだ、「痛いの痛いの飛んで行け！」と心で叫ぶも上手くいくはずもナシ。下りでは一歩一歩の着地点を探しながら、寒くもないのに冷汗をかき

ながら、「芍薬甘草湯」と「ボルタレン」錠剤と「ｴｱｰｻﾛﾝﾊﾟｽ」の薬の力も借りながら、愛宕の神と皆様のお助けとで　明るい内に無事下山できたことに感謝する次第です。ストックの有難さも再認識する一日でもありました。

原田和嘉子

ゆっくり歩いていただいたので遅れずについていくことができてほっとしました。
愛宕神社でこれからの登山の安全とスキルアップを祈願してきました。
雪がなかったのが少し残念ですが、３月に向けて雪のある時にまた登ってみたいと思います。
おぜんざいとてもおいしかったです。準備してくださった皆様ありがとうございました！

吉田文恵

１月３日からの登山は去年からは考えられない
一年の始まりでした。アイゼントレの成果？
を試す事無くホッと！次回の山に期待して
無事下山。楽しい山行きでした。
お汁粉、冷えた身体にしみました。
準備、企画してくださった皆様
ありがとうございました。
今年一年の山▲楽しみです。

中井登代美

おせち料理とテレビのお守りで重くなってしまった身体には、愛宕山・愛宕神社参拝はちょうどよいダイエット運動になりました。
雪の愛宕山は来年に期待します！

藤村敏幸

昨年と同じように今年も頂上で素晴らしい雪景色に出会えるかと期待を膨らまして登りましたが、雪はなく残念でした。でも頂上には多くの登山者がおり、初詣登山の雰囲気を十分に醸し出しており、心新たな気分になりました。

平尾繁和

昨年初めて新春恒例愛宕山登山に参加した。水尾別れを過ぎて石段手前で軽アイゼンを付け愛宕神社境内に入るや雪景色で思いもかけぬ樹氷の美しさに感激した。今年は、月輪寺コースから。舗装路歩きを終え空也の滝分岐から登山路へ。月輪寺コースは、昔愛宕さんの本道であったらしいが、行路嶮峻のため今の本道に替わったと山の本にでていた。さて表参道と比べどちらが険しいのか？ペースをあわせゆっくりと登った。月輪寺には天然記念物と記された大きなシャクナゲの木があることを初めて知った。蕾がついていたので、花が咲く頃また訪れてみたい。月輪寺の先の南側の開けたところで

はスミレが 1、2 輪咲いていた。穏やかな天気で着こんだ上着も脱いで登った。この暖かさでは雪は望みなし。愛宕神社では預かってきた「火廼要慎」の古札を返し今年１年の山行の無事を祈り、足早に階段を降り小屋で藤村さんとぜんざいの準備。金属製の門柱の浮彫と本殿前の建物の扉の木彫を飾るのは昨年の干支のイノシシ。余談になるが、登山路での話題にちなみに、2000 年頃愛宕山に住む動物はニホンザル、イノシシ、シカ、ムササビ、ニホンリス、キツネ、タヌキ、ノウサギなどで、ツキノワグマはいないと本にはあった。さて最近はどうなのか？（「自然ウオッチングガイド　京都と周辺の山々」）昼食とぜんざいを食べ記念撮影ののち、つつじ尾根から下山。全員無事そろって新年の初登りができてよかった。ＣＬ伊藤さん、ＳＬ土岐さん、参加のみなさんありがとうございました。今年もたくさんの山へ行きたいですね。